

明るい将来に向けて



日本銀行甲府支店長

松本 順丈

新年あけましておめでとござい
ます。
山梨県経営者協会会員の皆様にお
かれましては、益々ご清栄のうちに
新年をお迎えのこととお慶び申し上
げます。

日本経済、山梨経済は、現在、海外
経済の減速や円高の影響などから、
持ち直しの動きが一服しています。
昨年三月の東日本大震災の発生によ
って大変厳しい状況に直面しました
が、企業と国民の努力によって経済
活動は予想以上のスピードで回復し
ました。しかし、昨年夏場以降、欧
州情勢の緊張を背景とした海外経済
の減速と急速な円高の進展、さら
はタイの洪水といった懸念材料が出
てきました。

本年については、当面、そうした
マイナス材料の影響を受けて、景気
は横ばい圏内の動きになるものとみ
られますが、その後は、新興国に牽

引される形で海外経済の成長率が再
び高まることや、国内でも震災復興
関連の需要が徐々に顕在化してくる
ことなどから、緩やかな回復経路に
復していくことが期待されます。

ただし、こうした見通しには海外
経済の動向をはじめ様々な不確実性
が伴っています。さらに、日本経済
は、こうした景気循環的な問題と同
時に、労働力人口の減少や生産性の
低迷により趨勢的に低下している成
長率を、財政バランスの確保と両立
させつつ、いかにして引き上げてい
くか」という構造的な課題に直面し
ています。地域経済の低迷や中小企
業をめぐる経営環境の厳しさの背景
にもこの問題があります。日本経済、
山梨経済の明るい将来を拓くために
は、この課題に立ち向かうことが不
可欠です。

は、グローバル需要の取り込みと新
たな国内需要の掘り起こしの両面作
戦を進めていくこと、そうした方向
に向けて企業、金融機関、政策当局
がそれぞれの立場で前向きな対応を
具体的に進めていくことです。まず
何よりも企業自身がチャレンジ精神
を発揮し、イノベーションを実現し
ていくことが不可欠です。金融機関
には、企業に資金を提供して成長に
向けた取組みを支えていくことが求
められます。政府が規制や税制を柔
軟に見直すことなどを通じて企業が
前進していく力を支援していくこと
も必要です。日本銀行も、強力な金
融緩和を進め安定的な金融環境を整
えることを通じて、今後とも企業の
取組みを支援していきます。

そして同時に、日本の社会全体が
危機感を共有しつつも悲観的になり
過ぎないことが重要です。低成長が
続くと日本経済が直面する厳しい面

では、中長期的な成長力を引き上
げるためには何をすべきか。その答

にのみ目が向かいがちですが、客観
的にわが国を見つめると、日本は今
なお数多くの強み——世界の成長セ
ンターであるアジアに位置している
こと、高度な技術力、震災復興の過
程で発揮された現場力、品質へのこ
だわりやきめ細かなサービス精神、
金融システムの安定など——を有し
ています。こうした強みを活かした
がら、グローバル展開と内需開拓の
両面での対応を進めていけば、やがて
前向きの循環が始まり、成長力強化
が実現できると思います。それが実
現するかどうかは、我々自身が現状
の厳しさの原因を正確に認識したう
えで、必要な取組みを行っていくか
どうかにかかっているのです。

最後になりましたが、新しい年が
皆様方にとりまして素晴らしい年
となりますようご祈念申し上げます
で、新年のご挨拶とさせていただきます。